

弘前大学農学生命科学部地域環境工学科農業土木コース
平成24年度 教育評議会 記録(案)

日時：平成25年3月23日(土) 16:00～17:00

場所：農学生命科学部131室

出席者：[学外委員] 田中, 砂沢, 櫻田(隆), 櫻田(清), 山田

[プログラム教員] 工藤, 泉, 佐々木, 遠藤, 加藤, 森谷, 高橋, 藤崎

進行：工藤 記録：藤崎

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議事

(1) 変更通知に対するJABEEよりの回答

カリキュラム変更に関して変更通知を行ったことに対し、資料1のようにJABEEより継続して認定と回答があった旨、説明があり了承された。

(2) 学生の学習・教育目標達成状況

資料2～4に基づき、今年度修了生の修了要件達成状況と、2, 3年生の成績状況の説明があった。修了生は士補登録するののかとの質問に対し、指導技術士を確保できる環境があれば士補登録する可能性があるとの回答があり、また、2, 3年生の学習・教育目標Eの成績が全般に低い事について質問に対し、共通教育の英語の成績が悪い事に起因しているとの回答があった。その後、学生の学習・教育目標達成状況について了承された。

(3) 教育褒賞

資料5に基づき、2011年度は環境水利学の工藤教員、2012年度は構造力学I・同演習の加藤教員が褒賞対象となること、教育褒賞ワーキンググループで確認されたことの報告があり、了承された。

(4) JABEEの最新動向 (資料6)

資料6に基づき、JABEEの2012年基準から「学習・教育目標」が「学習・教育到達目標」と変更され、理念ではなく最低限の学生がクリアできる目標を記述するようになったこと、「(i) チームで仕事をするための能力」が加わったこと、基準の構成が4つに再構成されたこと、授業時間の基準がなくなったことなどが報告され、今後、他校のプログラムの状況などを調べながら2016年継続審査に向けて対応していくことが了承された。

(5) その他

資料7に基づき学生の就職状況について、昨年度より良いことが報告され了承された。

資料8に基づき平成24年度末の教員の退職、平成25年度の採用予定を踏まえたプログラム教員組織の変更の説明があり、合わせて佐々木教員が学部長となることも報告され、いずれも了承された。

資料9に基づき技術検定受験資格認定校が認められたことが報告され了承された。

資料10に基づき測量士補についてカリキュラム変更を届け出て認められたことが報告

され了承された。

教育評議員の学外委員について今年度で任期を終えるので、次期について、引き続き現委員に留任いただくことと、県庁などから若手1，2名の追加を検討することが了承された。

2016年の継続審査では、2014，15年度の資料が必要で、2013年度はその準備を行う年度となることが説明され了承された。

農業土木分野におけるJABEEプログラム認定の状況について質問があり、ほぼ半数程度の大学でJABEE認定を受けているのではないかと回答があった。

退職するプログラム教員より、感想をいただいた。